



蘆花恒春園をご利用いただきありがとうございます。

早くも暑さが気になるこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。お天気がやや不安定な日が多いですが、園内のお花は元気に咲いています。ぜひ新緑の季節、公園のあちこちをお楽しみください。

園内の状況

恒春園・墓所

花の丘



セイヨウシャクナゲ
です



フジです
見頃には
ちょっと早いかも

今月の予定 (詳しくはサービスセンターまで)

- | | | |
|---------------------|---|---------------------|
| 4(土) 文学セミナー | ⇒ | 今年度初回。申込み多数いただいています |
| 5(日) 花の丘フェスタ・パークライブ | ⇒ | 「子ども祭り」をお楽しみに |
| 12(日) 恒春園ガイドツアー | ⇒ | 新緑の中のツアーをお楽しみに |
| 26(日) かやぶきコンサート | ⇒ | 今年度初回。日本舞踊をお届けします |

先月の出来事

- | | | |
|---------------------|---|--------------------|
| 7(日) 花の丘フェスタ・パークライブ | ⇒ | 高遠小彼岸桜を楽しんでいただきました |
| 14(日) 恒春園ガイドツアー | ⇒ | 春のほのほのツアーでした |
| 28(日) ドッグラン清掃 | ⇒ | ご協力ありがとうございました |

コラム～職員のおすすめ花日記～

蘆花恒春園豆知識 (蘆花恒春園ってどんなところ?その1)

ハナミズキ (花の丘)



ハナミズキは北米原産ミズキ科の落葉樹で、1912年(大正元年)に当時の東京市長・尾崎行雄が日米友好の印としてアメリカのワシントンD.C.へ桜苗を贈り、1915年(大正4年)、そのお返しとしてアメリカから日本へハナミズキが贈られた話が有名です。

英名は「dog wood」、直訳で「犬の木」。犬が好きだった徳富蘆花ゆかりの地に、いかにも相応しい名前の木です。

蘆花恒春園は、作家である徳富蘆花が明治40年40歳の時から昭和2年に亡くなるまでの20年間作家活動をした場所です。名の起こりは、恒春という地名が台湾にあり「永久に若い」という意味もこめて縁喜が良いとのことで蘆花が命名したそうです。愛子夫人が蘆花没後の昭和11年、土地住宅を含めて所蔵品一切を東京市に寄付、市は夫人の意向に沿って文豪の生活をしのび記念のところとして永久に保存することにし、昭和13年に都市公園として開園しました。

園内は茅葺屋根の家屋など指定史跡がある恒春園区域と、雑木林や四季折々の花が楽しめる花の丘がある解放区域があります。花の丘は高遠小彼岸桜がまとまって見られるところとして、先月テレビでも放映されました。この桜は高遠町(現伊那市)から送られたもので、都内では貴重品種、開花もソメイヨシノより一足早いので、機会があったらお出かけください。

その他

- ・園内の枯枝などを順次処理しています。作業中は一部通行止めなどご不便をおかけします。安全第一で作業いたしますので、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。
- ・ドッグマナー(フン持帰り、車止めへのオシッコ禁止)にご協力をお願いいたします。



蘆花恒春園サービスセンター

■住所：〒157-0063 東京都世田谷区粕谷1-20-1
■TEL：03-3302-5016



緑と水 まちを豊かに
公益財団法人 東京都公園協会
Tokyo Metropolitan Park Association